

筑波大学新聞

第355号

編集責任 筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699

E-mail shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

注目記事

- 筑波大の若手教員 3割が目標
力作揃う卒業・修了制作展
- 自転車・梶原 世界選手権優勝
- 筑波大生ロケット打ち上げ成功
- 追越学生宿舎でばや騒ぎ

14 14 13 5 2

特集

誰一人取り残さない
筑波大とSDGs 10・11

ミニ特集

活躍する筑波大生
T-ACTに迫る 7

筑波お話し

先日、クレジットカードを落としたり、コンビニで利用後に徒歩で帰宅し、気がついた。あわてて来た道を戻りながら探し、コンビニの店員にも聞いてみたが、見つからない。利用停止するか、とあきらめかけた時、先輩から電話が入った。カードを見つけた人がいると。拾い主はカードの署名をネット検索し、本紙記者だと突き止めて編集部に連絡してくれた。ほっとした。日本人はおもてなしの心がある。だからこそ互いを思いやり、客人に心配りする。落とし物が戻ってくるのはその一例だ。滝川クリステルさんは7年前、国際オリンピック委員会(IOC)総会でそうスピーチし、東京五輪の招致につなげた。だが、新型コロナウイルスの感染が拡大。誤ったうわさがきっかけのディッシュやトレットペーパー、買い占め、マスクの高額転売など、おもてなしとはかけ離れたニュースが続く。東京五輪の1年延期も決まった。咳エチケットや集会自粛などの予防・感染対策も、思いやりの心があつてこそ成り立つ。独メレルケル首相は今回の事態に「私たちの団結、理性、お互いを思いやる心が試されている」と訴えたという。日本こそが、世界のお手本になつてほしい。カードを落とし、財布を拾った。急いでいたが、落とし主の不安な気持ちを思い、コンビニの店員に届け出を頼んだ。

授業開始は4月27日

新型コロナウイルス感染拡大で

2020年度春学期の新たな学年暦

(青が授業日・赤が休日)

日	月	火	水	木	金	土
4月	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	
5月	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					
6月	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30		
7月	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	31
8月	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30	31				

6月 29日~7月3日 春AB試験日
7月 23日 授業日(海の日)
24日 授業日(スポーツの日)
8月 3~7日 春ABC試験日

4月 27日 授業開始(昭和の日)
29日 授業日

(筑波大の資料から作成)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、筑波大は3月26日、今年度の授業開始日を当初の4月8日から4月27日に遅らせることを決めた。春学期に土曜授業を8週連続で8回行い、祝日も3回授業を実施する。4月5日に予定されていた入学式・大学院入学式は開学以来初の中止となった。

(西村大祐)人文学類3年、後藤佳佳)社会学類3年、16面に関連写真)

筑波大は東京五輪・パラ 試験を原則行わない方針。オリンピック期間中に授業や、だったがこれも転換する。

授業開始日が約20日延期されるに伴い、春ABCモジュールの終了日は8月7日となる。

筑波大は五輪開催に伴い計8日間、土曜授業をする予定だった。授業開始延期による不足時間を補うため、土曜授業を8日分に加え、祝日の授業を3日分実施する。

4月5~7日に予定されていた新生向けのオリエンテーションは、各学類がオンラインなどで実施する見込みだ。

筑波大は3月12日に入学

式の中を公表した。それまでは参加者を新入生のみに限った上で開催する方針だった。一方、卒業式・大学院学位記授与式は出席者を学群・学類、研究科の代表者に限り、3月25日に実施された。

筑波大の新型コロナウイルスへの対応は、1月29日

新型コロナウイルス関連記事

- 一般入試で感染対策 2面
- 運動部は対外活動自粛 12面
- 学生生活に広がる影響 15面

誰もいない合格発表掲示板



(3月7日、本部棟南駐車場で) 例年、歓喜の声が響く掲示板前。新型コロナウイルスの感染拡大で掲示が中止され、静けさが広がっていた。(西村大祐、写真も。2面に関連記事)

性的少数者も同一支援

筑波大は出産、育児、介護など教職員の福利厚生に関する支援制度を4月から見直し、法律婚、事実婚、性的少数者のカップルを問わず同じ支援を受けられるようにした。大学としては全国初の取り組み。(北川瑠菜)比較文化学類2年、後藤佳佳)

筑波大は出産、育児、介護など教職員の福利厚生に関する支援制度を4月から見直し、法律婚、事実婚、性的少数者のカップルを問わず同じ支援を受けられるようにした。大学としては全国初の取り組み。(北川瑠菜)比較文化学類2年、後藤佳佳)

「トナー」に読み替えた。筑波大ではこれまで、福利厚生面の支援のうち、結婚休暇や育児休暇、育児休業などは法律婚に限っていた。配偶者出産休暇や介護休暇などは事実婚の場合も認めていた。しかし、戸籍上の性別が同一のカップルはいずれも対象外だった。

今回の見直しでは、大学の就業規則や育児、介護、手当てなどに関する規定や規則にある「配偶者」「妻」の文言を学長決定で「パートナー」に読み替えた。

筑波大ではこれまで、福利厚生面の支援のうち、結婚休暇や育児休暇、育児休業などは法律婚に限っていた。配偶者出産休暇や介護休暇などは事実婚の場合も認めていた。しかし、戸籍上の性別が同一のカップルはいずれも対象外だった。

その結果、教職員が、読み替えた規定の適用を希望する場合は、パートナーであることを証明する書類の提出が必要で、地方自治体が発行するパートナーシップ証明書などが該当する。それがない場合は、相互に相手方を任意後見受任者とする公正証書▽世帯全員の住民票の写し▽配偶者がいないことを証明する書類――の3点を提出する。

支援の拡充は、「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」の作成に携わった河野禎之助教(人間学)と土井裕人助教(人社会学)が昨年

防衛装備庁から研究助成

筑波大 5年間で最大20億円

防衛装備庁の「安全保障技術研究推進制度」で昨年12月、筑波大の藤田淳一教授(物理学)が研究代表を務める研究課題が採択された。同制度では最も高額な5年間で最大20億円が受けられる大規模研究課題(タイプS)で、大学が選ばれるのは初めて。(國井俊介)社会学類3年、加藤優花)国際総合学類3年、西村大祐)

研究課題は「高強度カーボンナノチューブ(CNT)を母材とした耐衝撃緩衝機構の解明と超耐衝撃材の創出」。CNTを使い、衝撃に強い炭素系素材を開発する

「沿った提案を公募・資金提供するもので、2015年度に始まった。同庁は、研究成果の公表を制限することと、防衛装備品への応用可能性は審査の観点に

大学と研究 大軍

含まれないとしている。昨年度の予算は約101億円。タイプSは17年度から採択が始まり、例年7件程度が採択されてきた。同庁によると、昨年度は1次募集でタイプS採択数が3件にとどまるなど予算に余裕が生じ、2次募集したという。大学の軍事研究の是非

を巡っては、同庁の新制度が始まって以降、議論が本格化し、日本学術会議は17年に軍事研究を否定する見解をまとめている。

筑波大も昨年1月、「軍事研究をしない」とする基本方針を発表。筑波大で行われる研究は①人道に反しない②研究者の自主性・自律性を尊重する③研究の公開性を担保する――の3点を満たす必要があるとしている。その上で、同庁や米軍による資金提供など軍事研究とみなされる可能性が高い研究については、学内に設置した審査委員会が個別

誰もない合格発表掲示板

藤田教授の今回の申請は、昨年10月に学長や副学長などで構成される審査委員会に事前に審議された。委員会では①②を満たす研究で軍事研究には当たらないと判断され、同制度への申請が認められた。

永田恭介学長は本紙の取材に「防衛装備庁の予算は国会の審議を経て成立している。憲法の下で、立法府が認めた予算が軍事にあたるかどうかを大学は判断する立場にない。筑波大としては内容が軍事研究に当たらないかをチェックするのが役割だ」と語った。

承認に際し、3点が確保できない場合は筑波大側が研究を差し止めることができる条件を追加し、研究の進捗を定期的な調査することにしたという。

木越英夫副学長(研究担当)は「大学が定期的に研究の進捗などをチェックすることは研究が当初の目的から外れてしまつてを防ぐため、研究者を守ることにつながる」と話した。

今回の採択を巡っては、日本科学者会議の茨城支部や筑波大学分會「安全保障に反対する筑波大学有志

性的多様性 SOGI/LGBT+

の会が2月に、大学の基本方針に反するとして抗議声明を出していた。

また、池内了・名古屋大学名誉教授らが共同代表を務める「軍学共同反対連絡会」は3月11日、「制度の主たる目的が将来の軍事利用にあり、透明性が低い」と語った。

こうした批判に対し、木越副学長は「反対意見があるのは承知しているが、今回の申請については基本方針に反しないものと考えている」と語った。

支援の拡充は、「LGBT等に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」の作成に携わった河野禎之助教(人間学)と土井裕人助教(人社会学)が昨年

河野助教は「筑波大は開かれた大学を理念としており、支援拡充は、その理念に合わせた自然な動きだ。他大学に先例を提示するといった意義もある」と語った。

SOGIは、「性的指向と性自認を意味し、LGBTとは違い、全ての人が当てはまる性の属性を示します。性的多様性、SOGI/LGBT+」では、性の多様性を理解、共生できる社会を目指し、分かりやすく情報を発信します。

「指定国立大学法人」申請

審査結果は夏ごろ公表

筑波大は「指定国立大学法人」への指定を文部科学省に申請した。指定されると国の規制が緩和され、研究成果活用のための大学発ベンチャーへの出資などがしやすくなる。また、国からの補助金も得られる。ただし指定には、「世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる」と、国から認められる必要がある。文科省は今年夏ごろに審査結果を公表する。



本紙の取材に応じる永田学長(3月9日、学長応接室で) = 後藤佳佳撮影

指定国立大学法人制度は2017年度に始まった。世界の有力大学と肩を並べる大学を指定し、研究力や人材育成能力の強化、イノベーションの創出につなげる狙いがある。これまでに、東京大や京大など7大学が指定されている。

「研究力」「社会との連携」「国際協働」の三つの領域で国内最高水準に位置していることが申請の要件とされている。

文科省の国立大学法人支援を確保するための報酬や給与の増額などが特例的に認められる。文科省は大学の要望を踏まえ、更に規制緩和を検討するという。

永田学長によると、筑波大は制度の導入当初から申請を考えていたが、「社会との連携」領域で要件を満たせず断念していた。

国立大学は、文科省が定める6年間の中期目標に基

永田学長「若手3割近くに」

現在は約2割 増加に向けた新制度も

近年、全国の大学で若手教員(40歳未満)の比率がじわじわと下がっている。国立大学が人件費などに充てる国からの運営費交付金の削減に伴い、ポストが減少していることが背景にある。政府は、若手の研究環境の強化を打ち出し、将来的に「3割以上」とする目標を掲げるが、筑波大の若手教員の割合は約2割と全国平均レベルにとどまる。筑波大の永田学長は本紙の取材に対し「(若手の割合は)3割近くを目指す」と話し、筑波大の強みとなる研究分野について、教員が定年退職する前に新規若手教員を採用できる新たな教員人事の枠組みを導入する方針を明らかにした。

(木村誠二 人文学類4年、西村大祐、後藤佳佳、國井俊介)

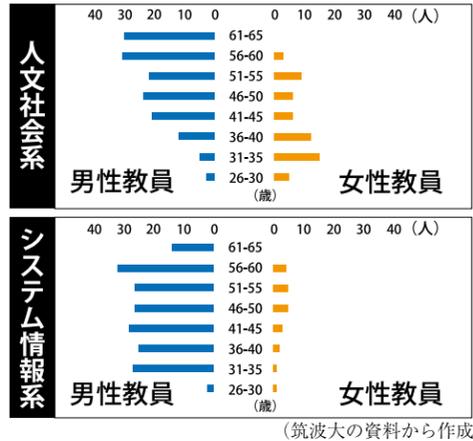
4 教員数減少を 考える

系ごとに異なる状況

文部科学省によると、国内全大学の若手の割合は2016年度で23.4%、国立大学に限ると18年度で24.8%だった。

筑波大の若手の割合は18

教員の「人口ピラミッド」(2019年度)



割合は人文社会学系や社会学類などの教員が所属する人文社会学系が最も低かった。同系の昨年度の若手の割合は15.7%。11年度の割合は15.8%から低下した。逆に、56歳以上の教員は11年度の20.5%から昨年度は39.7%に増えた。

若手の割合が最も高いのは、社会学類や情報科学類などの教員が所属するシステム情報系で、昨年度は31.3%。11年度の29.6%から上昇した。

政府の総合科学技術・イノベーション会議は今年1月、若手(40歳未満)を25年度までに約1割(約5500人)増やし、将来

筑波大の新施策

若手の増加に向け「施策は打っている」と永田学長は話す。具体的には、各系がポイントの1%を拠出して、中期計画と年度計画を策定する義務を負う。現在は第3期中期計画期間中(2016〜21年度)だ。

文科省は昨年10月、第4期に向けて、新たに指定国立大学法人の申請を公募した。筑波大は今回、要件を満たすことができたため、申請に踏み切った。

申請に際しては、指定国立大学法人として必要な取り組みや目標を盛り込んだ構想書を提出する。筑波大は、学生一人に教員一人を配置し、学生のキャリア支援の充実を図るチューター制導入などを打ち出したという。

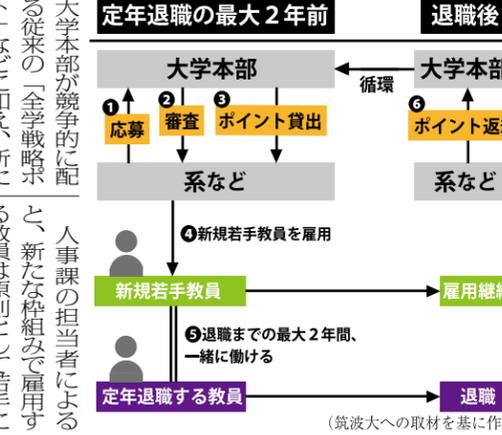
九州大と東京医科歯科大も申請しており、文科省の指定国立大学法人部会が申請書の書面審査や現地視察、ヒアリング審査を進める。そのために、国として

的には教員全体の3割以上とする目標を掲げた。政府の第5期科学技術基本計画(2016〜20年度)でも、若手を3割以上とする目標が定められていた。

国立大学協会も務める永田学長は「学問は年を取った人がやるよりも若いのがいい。次の世代に託さないといけないのも大学の役割」と話した。

筑波大についても「若手の割合は、3割近くを目指す」と話している。若手、中堅、成熟層それぞれが3割程度だと、将来的にもバランスが取れる」と話した。

筑波大が今年度始める新制度



人事課の担当者によると、新たな枠組みで雇う教員は原則として若手に限る。毎年30人程度を予定している。

大学本部が新規教員を雇いたい系などからの応募を審査し、筑波大の強みとなる研究分野と判断すると、教員を雇う予算に相当する「ポイント」を貸す。

学内で作業員死亡

1月20日午後、大学構内でごみの回収作業をしていたつば市内の40代男性会社員が、ごみ収集車のローラー部分に巻き込まれた。男性は市内の病院に運ばれたが、死亡が確認された。死因は圧死だった。

つばは中央署(現つば署)の調べでは、筑波本部アネックス棟南側のごみ

系などはそのポイントで新規教員を雇用する。予定通り教員が退職した後、系などは空きポイントを使って新規教員の雇用を継続するとともに、本部へ借りたポイントを返す。

大学本部は、返却されたポイントを再度審査し、系などに貸し出す。この仕組みが繰り返して活用されることで、筑波大の強みとなる研究分野へポイントを配分しつつ、若手教員の増加を図れるという。

集積所で同日午後1時10分ごろ、別会社の60代女性清掃員が、ごみ収集車で1人で回収作業中の男性を確認していた。

25分後、女性が再び集積所に立ち寄ると、ごみ収集車が停止したままだった。不審に思い、確認したところ、ごみ収集車後部のローラー部分に巻き込まれている男性を見つけ、110番通報した。男性は心肺停止の状態で見送られた。(森賢太 社会学類4年)

ラグビー場

「CHUBU T Field」

ネーミングライツで愛称決定

筑波大は近年の生産・販売や管理を手掛ける「チュウブ」(東京都中央区)と「ネーミングライツ(施設命名権)契約を結んだ。ラグビー場の愛称を「CHUBU T Field」とする。期間は2023年3月末までの3年間。チュウブは対価として、ラグビー場の多生の維持管理業務を提供する。

筑波大は昨年12月、ラグビー場の愛称の命名権を付与する代わりに、芝生整備の役割が整備費の金銭負担を求める条件で公募を実施した。

チュウブ以外に応募はない。学内の「ネーミングライツ審査委員会」での審議を経て、同社と契約を結んだ。

ラグビー場は主に授業と

筑波大 一般入試

【一面参照】筑波大の一般入試は前日程が2月25、26日に、後日程が3月12日に実施された。延べ4796人が受験した。現

在の枠組みでの実施は今回が最後で、2021年度入試からは一般入試が「一般選抜」に名前を変え、前日程で新たに総合選抜が導入される。

入学定員(2011)の6割を募集する前日程(募集人員1307人)では1358人が合格。志願者数は4385人(前年度比57.4人減)で、全体の志願倍率は3.4倍(前年度は3.8倍)だった。

前日程での都道府県別の合格者数は、東京都が198人で昨年に引き続き1位。2位は茨城県で

178人、3位は千葉県で140人となり、上位3都県で全体の約4割を占めた。「高等学校卒業程度認定試験」による出願者を除く合格者のうち現役生は全体の74.9%の1013人。既卒者は340人だった。

後日程(募集人員176人)では192人が合格。志願者数は1421人(前年度比204人減)で、全体の志願倍率は8.1倍(前年度は9.3倍)だった。欠席率は56.3%。

一般入試は新型コロナウイルスが感染拡大する中での実施となった。入試課は受験者にマスクの着用を推奨する声明を発表。定期的に試験会場の換気を行い、アルコール消毒液を配置するなどの対策を講じた。

筑波大は例年、合格発表当日の午前10時に本部棟南駐車場で合格者の受験番号を掲示してきた。しかし、受験生が密集することで感染を拡大させる恐れがあるとして、今年は中止した。一方、ウェブでの発表を例年より1時間繰り上げ午前10時からとした。(西村大祐)

ラグビー場

「CHUBU T Field」

ネーミングライツで愛称決定

筑波大は近年の生産・販売や管理を手掛ける「チュウブ」(東京都中央区)と「ネーミングライツ(施設命名権)契約を結んだ。ラグビー場の愛称を「CHUBU T Field」とする。期間は2023年3月末までの3年間。チュウブは対価として、ラグビー場の多生の維持管理業務を提供する。

筑波大は昨年12月、ラグビー場の愛称の命名権を付与する代わりに、芝生整備の役割が整備費の金銭負担を求める条件で公募を実施した。

チュウブ以外に応募はない。学内の「ネーミングライツ審査委員会」での審議を経て、同社と契約を結んだ。

ラグビー場は主に授業と

筑波大 一般入試

【一面参照】筑波大の一般入試は前日程が2月25、26日に、後日程が3月12日に実施された。延べ4796人が受験した。現

在の枠組みでの実施は今回が最後で、2021年度入試からは一般入試が「一般選抜」に名前を変え、前日程で新たに総合選抜が導入される。

入学定員(2011)の6割を募集する前日程(募集人員1307人)では1358人が合格。志願者数は4385人(前年度比57.4人減)で、全体の志願倍率は3.4倍(前年度は3.8倍)だった。

前日程での都道府県別の合格者数は、東京都が198人で昨年に引き続き1位。2位は茨城県で

178人、3位は千葉県で140人となり、上位3都県で全体の約4割を占めた。「高等学校卒業程度認定試験」による出願者を除く合格者のうち現役生は全体の74.9%の1013人。既卒者は340人だった。

後日程(募集人員176人)では192人が合格。志願者数は1421人(前年度比204人減)で、全体の志願倍率は8.1倍(前年度は9.3倍)だった。欠席率は56.3%。

一般入試は新型コロナウイルスが感染拡大する中での実施となった。入試課は受験者にマスクの着用を推奨する声明を発表。定期的に試験会場の換気を行い、アルコール消毒液を配置するなどの対策を講じた。

筑波大は例年、合格発表当日の午前10時に本部棟南駐車場で合格者の受験番号を掲示してきた。しかし、受験生が密集することで感染を拡大させる恐れがあるとして、今年は中止した。一方、ウェブでの発表を例年より1時間繰り上げ午前10時からとした。(西村大祐)

記者の声



秋田耕平

類似の総合入試制度を実施している北海道を3年前に取材した。同大はラーニングサポート室を設け、教員4人と博士号を持つ専門職員4人、大学院生のティーチング・アシスタント十数人が学生の進路相談や学習支援に当たっている。

筑波大もクラス担任や各学類から選ばれた教員が学生に助言

入試改革 学生支援の体制づくりは急務 調査書の点数化は見直しを

筑波大の学群入試改革まで1年を切った。学類の枠を越えて選抜する「総合選抜」と、受験生の「調査書」を点数化して合否判定に利用する「主体性評価」の二つが柱となる。今回の改革に伴う課題を整理してみたい。

総合選抜は体育専門学群を除く24学類・専門学群が参加する。受験科目が異なる「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」の4区分で実施し、全入定員の2割となる計413人を募集する。本人の志望と入学後の成績に

筑波時評

裁判員制度は、2009年5月から始まり、去年等放火罪、身代金目的誘拐罪など10年を迎えたことになり、裁判員裁判とは、地方裁判所で行われる第一審の刑事裁判について、国民に裁判員として参加してもらい、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするのかを裁判官と一緒に決めてもらう制度です。原則として裁判員6人と裁判官3人で構成されます。裁判員裁判の対象となるのは、例えば、殺人

裁判員制度 メリットもあるが負担大 刑事裁判の大原則理解を

従来の刑事裁判では、検察官が立証に必要と思われる証拠対象となるのは、例えば、殺人 例えは証人の供述内容をまとめ

1カ月に1回程度の審理を開いて尋問を繰り返す、それが何カ月か続き、裁判官が最終的に判断するという形でした。

これに対して、裁判員という形で国民が入ったことにより、より短期間により分かりやすい裁判をするというところで、法定で出される証拠は厳選されるようになり、争いがある事

い。学生が履修科目を組み立てる際の公平性を保つためにも導入を急ぐべきだ。

主体性評価の導入は文部科学省の方針を踏まえたものだ。調査書には受験生の高校3年間の学習態度や学校生活が書かれている。「知識技能」や「思考力・判断力・表現力」に加え、「主体性」を持って人々と協働して学

「自らの知的好奇心に任せて様々な専門領域を学修し、確かな未来に向けて、『学び』を主体的に計画したいと考える方のための入試」と述べている。

ここでの課題は、進路選択に迷う学生の支援体制の整備と、進路決定に使う学生の成績評価の透明性確保だろう。

「自らの知的好奇心に任せて様々な専門領域を学修し、確かな未来に向けて、『学び』を主体的に計画したいと考える方のための入試」と述べている。

ここでの課題は、進路選択に迷う学生の支援体制の整備と、進路決定に使う学生の成績評価の透明性確保だろう。

反対意見

座右の銘

「座右の銘。それは、心の中心にある戒めや励まし言葉だ。春は出会いと別れ、そして新たな一歩を踏み出す時。筑波大生はどのような言葉を自らの指針としているのか。中央図書館前などで聞いた。(西村大祐 文学部3年、梅津拓人 比較文化学類2年、田所涼 教育学類3年、大森春歌 芸術専門学群3年)

【体育2年・男性】 座右の銘は「自己啓発」。

【大器晩成】 昔、占いに言われた。「石の上にも三年」。

【障害2年・女性】 失敗を恐れない。

【専攻2年・女性】 決めつけない。

【専攻2年・女性】 多様な人々がいる現実を受け止める。

【専攻2年・女性】 先生からもらった言葉。自らが臆病になっている時に「イチロー」の著書に書いていた「決めるのは自分」。

コンビニの24時間営業



イラスト=大森春歌(芸術専門学群3年)

24時間営業を成長の原動力にしてきたコンビニ業界が岐路に立っている。人手不足を背景に、その見直しが進んでいる。一部店舗では時間短縮が始まっている。深夜や早朝にもコンビニを利用することが多い筑波大生は、このような変化をどう受け止めているのか。

【心理2年・男性】 生活が不規則になりがち。24時間営業は、いつでも買物に行けるのは便利だが、消費が店側に集中する。24時間営業を廃止してほしい。

【専攻2年・女性】 先生からもらった言葉。自らが臆病になっている時に「イチロー」の著書に書いていた「決めるのは自分」。

自分が笑顔でいれば、周囲の人達も嫌な気持ちにはならないから。

【電物2年・女性】 「足るを知る」

【心理2年・男性】 無味なものを食べては、かきこむのではなく、今あるものを大切にしたい。

【人文2年・女性】 「人生、今が一番若い」

【専攻2年・女性】 先生からもらった言葉。自らが臆病になっている時に「イチロー」の著書に書いていた「決めるのは自分」。

卒業・修了制作展

「大學生生活の結晶」集う

日本画や書など 233点展示

筑波大の「令和元年度芸術専門学群卒業制作展」が2月4日から3月1日に茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。

つくば市内の女性は「ユニークな作品が多く、楽しめた」と話していた。その中でも特に目を引いたのは、建築模型とイラストを使い、静岡県松崎町の伝統建築の継承と地域おこしを提議した安部通香さん(令和元年度芸術専攻修了生)の「継ぐ、ということ」だ。



安部さんの作品「継ぐ、ということ」(2月28日、つくば美術館で)

産業、廻船業で栄えた。今も、しっくい壁に平瓦を並べて張った「なまこ壁」と呼ばれる伝統的な壁面を持つ建物が多く残る。

伊豆半島南西に位置する松崎町はかつて漁業や木炭の「継ぐ」ということだ。今回の制作展の総括代表を務めた黒松愛華さん(芸術P1年)は「出品した作品は大学生生活の結晶で、仲間と共に切磋琢磨した軌跡でもある。四つある専攻の学生が他専攻と交流し、見識を深めることができる」とは筑波大の特色だと思

津軽三味線倶楽部 無絃塾

迫力ある演奏で観客を魅了



「津軽しょんがら節」を披露する塾生ら(2月24日、ノバホールで)

筑波大学津軽三味線倶楽部無絃塾の第22回卒業公演が2月24日、ノバホール(つくば市吾妻)で開かれた。2部構成で17曲が披露され、1000人以上が今春卒業する塾生の最後の公演を楽しんだ。

無絃塾では、津軽三味線に加え、舞踊や琴、民謡など、幅広い伝統芸能を身につける活動をしている。卒業公演でも、三味線の弾き

語りや100人以上での合奏などにより、各地の民謡から誰もが知るポップスまで幅広い演目を披露し、会場は大いに盛り上がった。

一部最後にはオリジナル曲「風の詩」が披露された。和太鼓により力強く始まり、中盤では和太鼓と40丁の津軽三味線による力強い響きにキーボードの優美な音色が融合し、一段と盛り上がりを見せた。人生に吹く追い風や向かい風などを、迫力ある演奏で表した。公演を締めくくったのは

露した。息の合った津軽三味線の合奏は観客を圧倒するところにも、優美でありながら迫力ある日本の伝統芸能の素晴らしさを届けた。公演を終えた卒業生代表の宇都宮瑞希さん(令和元年度芸術専門学群卒)は「卒業生の思いがより伝わるように、公演中のせりふ一つひとつをこだわって考えた。本番はあっという間に感じた。未熟な部分も失敗した部分もあったが、自分が一生懸命やった結果なので悔いはない」と語った。(川久保修平 社会学類2年、写真も)

俳句 筑波大

いぬふぐり蛇口の下のくぼみあり 風は春齊あたりに落ち着いて ものかげに池の収まる春彼岸



つくば市桜で廣間菜月撮影

今号からは、筑波大周辺を散策して俳句を詠みまします。俳句は昨年度に引き続き、筑波大生で俳人の吉川創揮さんが担当します。

CAIR2020

海外の美大生と作品を制作

海外の美術大学の学生を筑波大に招き、芸術専門学群の学生と一緒に制作する「キャンパス・アーティスト・イン・レジデンス」(CAIR) (主催・筑波大 学教育戦略推進プロジェクト)

ト、芸術系が2月12〜20日に体芸エリアで開かれた。海外から招いた作家に一定期間滞在してもらい、制作と展示を行う欧米発祥のプログラムを参考にした企画で、筑波大での開催は昨年以降2回目。

今年「Interaction」がテーマで、芸術専門学群の学生5人と英国、メキシコ、ポーランド、エジプトから来日した美大生4人の計9人が参加した。最初の7日間は共同アトリエで油彩やアクリル画、版画やインスタレーションなどさまざまな作品を制作した。筑波大生に海外の美大生を加えたチームを作

あり、各々が題材とした過去の記憶や社会問題などについて英語で語り合った。沼野秋さん(芸術専攻2年)は、平仮名とアルファベットの関係性に着目し、「a」と「あ」など、同音の平仮名とアルファベット、どちらにも見える文字を50個デザインした。沼野さんは普段の制作と違い、自分の制作や意図について他人に伝える機会が多かった。(コメント)に共感してもらえたり意見をもらえたりして、制作過程で影響を受けた」と話した。

多彩な音色 会場響く 打楽器アンサンブル 打楽器アンサンブル団体「筑打」の定期コンサートが2月2日、つくばカピオ(つくば市竹園)で開かれた。コンサートでは約50種類の打楽器が使われ、約300人の観客が多様な打楽器の音色を楽しんだ。

「筑打」は筑波大吹奏楽団、管弦楽団、応援部WINSの打楽器パートの有志23人で構成されている。コンサートは3部構成で、全11曲が披露された。1曲の中で最も多い19種類の打楽器が使われたのは、10曲目に演奏された福

田洋介作曲の「ビッドタイムズ カルテット」。曲は軽快な手拍子から始まり、マリンバとシロフォンの音色が曲調に華やかさを与えた。その後、ティンパニやシンバルなど定番の打楽器に加え、ドレミパイプなど珍しい打楽器も相次いで登場した。ドレミパイプはプラスチックでできた管状の打楽器で、管の長さによって違う音階が出る。終盤に向け、演奏に手拍子と力強い足踏みの音が加わり、疾走感が演出された。一度音が止んだ後に団員がドレミパイプを頭でたたき、パイプを上突き上げるお茶目なパフォーマンスで曲は終わった。

団長の長津舞さん(図情×2年)は「異なるサークルに所属する学生や社会人のメンバーが集まるため練習日程の調整に苦心した。例年より観客が増えうれしかった」と話した。(遠子内早紀 教育学類3年、北川瑠菜 16面に関連写真)

和氣 愛仁 准教授 (日本語学・人文情報学) 人文社会学系・准教授。筑波大学大学院文芸・言語研究科博士課程修了。博士(言語学)。一橋大学総合情報処理センター助教などを経て、2009年より現職。

部に入ってから、今に至るまでトランプを吹き続けることになる。高校の時、父がパソコン一式を購入した。成績処理をするのだという。当時のパソコンにはBASIS言語が標準添付されていて、それでプログラミングの面白さにはまった。仕事道具は子供のおもちゃになった。一度は音大を目指したものの、結局は筑波へ。筑波大は当初から分野間の敷居が低く、様々な勉強ができたから、入学してから専攻を決めれば良かったと思う。ところが、仕事でまず評価されるのはコンピュータ。そして一番古くから続けている音楽はあいかかわらずの趣味。分裂した自意識。しかし、あがけば先が見えてくるということも確かである。筑波大に着任した頃、人文情報学という研究分野があることを知る。それまで別々だった言語研究とコンピュータ技術が繋がっ



音楽言葉コンピュータ。自分を構成する要素のうち主なものを選び出す。それは、この三つになる。小学校の教員だった父はちょっと変わった人で、下手の横好きというのか、色々と手に出していたらしい。グループサウンズに熱狂した世代で、エレキギターやドラムセットが家にある中に、なぜかトランプもあって。その楽器を、「10歳になったらお前にやる」と言う。それで小学4年生で吹奏楽があった考古学を選んだ

が、授業を履修するうちに言葉の面白さにひかれるようになり、2年次から日本語学コースを希望。それから多くの先生方との出会いがあり、大学院に進学。

て、ひとつの像を結ぶようになった。ああ、これでよかったんだ、という頃の安堵感は今でも忘れることができない。となれば、次の目標は音楽を研究と結びつけること。時間はかかったが、アイデアは浮かんだ。次の手も打った。ずっとやりたかった「音楽を仕事にする」ということを、まったく想定しなかった形で実現しつつあることにわくわくしている。院生時代の恩師の顔はチラチラと脳裏に浮かぶだけだ。

自分は何者であるのかという若い頃の疑問について、今でも明確に答えることはできない。せいぜい、有家無家を飲み込んだその総体が自分なのだ。よくわからない説明でお茶を濁すのが関の山である。たまた、人生とは、点と点を結ぶ線になるというふうな類いのものではないのだ。ということは理解できたように思う。

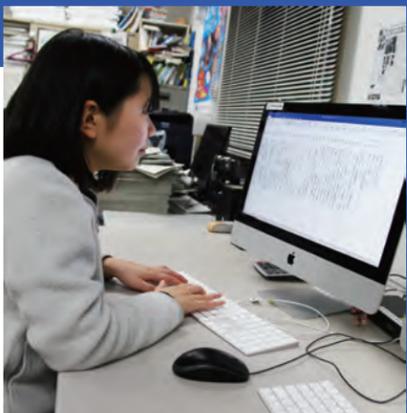
新人記者募集中!



INTERVIEW
聞く



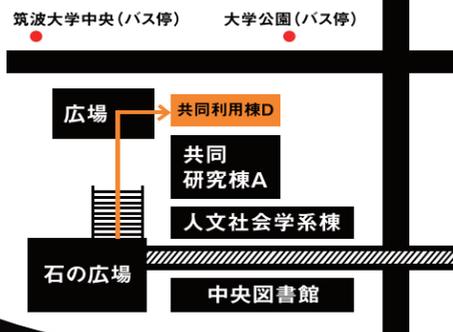
TAKE PICTURES
撮る



WRITE
書く

毎週月曜の午後6時30分から、編集室(共同利用棟 D104)で「編集会議」を行っています。見学も可能です。活動内容についてはTwitterなど公式SNSで発信していきます。

TEL : 029-853-6699
MAIL : shinbun@un.tsukuba.ac.jp
Twitter : @ut_shimbun



誰もが活躍できる編集部

新入生のみなさん、ご入る筑波大のスポーツを主に学おめでどうございます。取り扱っています。ですが、その活動の枠は大学内に収まりません。筑波大学新聞に取ってご覧いただき誠にありがとうございます。筑波大学新聞は年に7回、各2万1000部(新入生歓迎号に当たる今号は約4万1500部)発行している筑波大の広報紙です。記事の執筆のほか、紙面作りなどは全てを学生の記者が担当しています。ご覧いただいた通り、大学内の話題や学芸、研究、省庁やメガバンク、他大学などにも「事実」を求め、取材します。



編集長 西村大祐

昨年9月には先進的な大学スポーツの取り組みについて取材するため、英国に渡りました。言語の壁があ

「新聞」は古くて新しい

インターネットの発達で、誰もがいつでも情報を発信し、受け取ることができるとなりました。でも、その情報はどれほど信頼できるのでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大を巡っては、「マスクと原料は同じ」という誤情報がSNSで拡散し、トレットペーパーの買い占め騒ぎが起きました。そんなフェイクニュースに踊らされない情報リテラシーを身に着けたいなら、ぜひとも筑波大学新聞の門戸をたいてほしいと思います。

1月に発行した354号 編集室(共同利用棟 D104)で「編集会議」を行っています。見学も可能です。活動内容についてはTwitterなど公式SNSで発信していきます。TEL : 029-853-6699 MAIL : shinbun@un.tsukuba.ac.jp Twitter : @ut_shimbun



編集代表 鴨志田公男

ある日の取材相手は、日野でも取材できます。本代表のスポーツ選手かも

りながらも、英語で取材を敢行しました。

新入生の皆さん、ぜひ、編集部においでください。(筑波大教授、元毎日新聞論説委員)

T-ACT で活躍する筑波大生

筑波大には、学生の「やってみよう」を応援する独自のプログラム「T-ACT」(つくばアクションプロジェクト)がある。その中でも学生が立案し、実行する「T-ACTアクション」には、毎年ユニークな企画が集まる。新しいことを始めるにはびびりたりの4月。昨年度にT-ACTの支援を受け、自分の「やってみよう」を実現した4人に話を聞いた。(北川瑠菜、国井俊介、後藤佳佳、社会学類、遠学内早紀、教育学類)

T-ACTとは

T-ACTの活動には3種類ある。▽学生が企画、コンサルタントに相談する「T-ACTアクション」▽教職員が立案し、学生とともに企画を進める「T-ACTプラン」▽地域活動団体が学生をボランティアとして募集する「T-ACTボランティア」

「T-ACTボランティア」は4企画、「T-ACTボランティア」は31件だった。T-ACT推進室の黒田卓哉助教は「T-ACTの活動を通じて、自分で考えて、実行するという『企画力』がまず身につく。そのプロセスも、座学では体験

◆藤野真帆さん (目4年)

企画のきっかけは、藤野さんがスロベニア留学中、日本の祭礼の普及活動を行っていた一般社団法人「明日神」の宮田宣也・代表理事と、日本文化の紹介イベントで偶然出会ったこと。宮田さんは、少子化で神輿の担ぎ手が減少するなか、全国各地の祭礼を支援するボランティア活動をして

いた。宮田さんの活動に興味を持ち、自分も地域の祭礼の課題解決に貢献したいと考え、神輿担ぎなどの日本文化を体験し、広めるから始めた。自分の好きな活動が本格化した。日本の祭礼に参加する上で、避けて通れないのが宗教的な問題だ。「例えば、建国祭は、昔はナショナルイズムを高揚する意味合いもあった。メンバーの中には、そのような思想にわたがまわりを持つ留学生もいた」と藤野さん。できるだけ丁寧な企業と協力して市にちなんだ菓子を発売し、販売すること。また、その過程で商品開発に関する知識と経験を身に付けていくことだ。だが、実際に活動を始めると、協力してくれる企業を探しに苦労した。地元の子会社社に話を持ちかけたが、人手不足や繁忙期の

◆青木勇樹さん (情科2年)

人に声をかけたことがきっかけで開催に至り、約30人が参加した。こだわりが詰まったプレゼンを聞き、自分もメイクについて発信したいと感じた。

昨年12月開催の第2回は「メイク」ではその活動を引き続き、化粧品に詳しい人によるプレゼンや、参加者にメイクを施す実演講座などを盛り込んだイベントの開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

青木さんは「つくばメイク」の魅力は、性別、年齢問わず色々な人と、化粧品への愛や美容に関する悩みを語れることと話す。次回は、新入生に焦点を当てたイベントを考えている。初心者向け化粧品の紹介のほか、「メイクは誰かのためではなく、自分のためにするもの」というメッセージを伝えたいという。「筑波大には自分らしいメイクを楽しみたい人が少ない」と青木さん。



「メイクの楽しさを広めたい」と意気込む青木さん(3月23日、2B棟で) = 北川瑠菜撮影

メイクの「楽しさ」を発信

「メイクの楽しさを広めたい」と意気込む青木さん(3月23日、2B棟で) = 北川瑠菜撮影

と感ずる。ウェブや学内掲示板で筑波大生に情報発信ができるT-ACTの利点を生かして、つくばメイクを「広めたい」と青木さんは意気込んだ。

◆芹川聖頼さん (修教2年)

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

青木さんは「つくばメイク」の魅力は、性別、年齢問わず色々な人と、化粧品への愛や美容に関する悩みを語れることと話す。次回は、新入生に焦点を当てたイベントを考えている。初心者向け化粧品の紹介のほか、「メイクは誰かのためではなく、自分のためにするもの」というメッセージを伝えたいという。「筑波大には自分らしいメイクを楽しみたい人が少ない」と青木さん。



コーヒーをいれながら、その魅力を語る芹川さん = 本人提供

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

データから「最適の一杯」探し

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

◆藤井七彩さん (資源3年)

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。



将来の夢にむけて食品開発を企画した藤井さん(3月19日、5C棟で) = 遠学内早紀撮影

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

企業と協力して食品開発

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

神輿を担ぎに全国各地へ



メンバーとともに「建国祭 奉納神輿パレード」に参加した藤野さん(右から3人目) = 本人提供

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

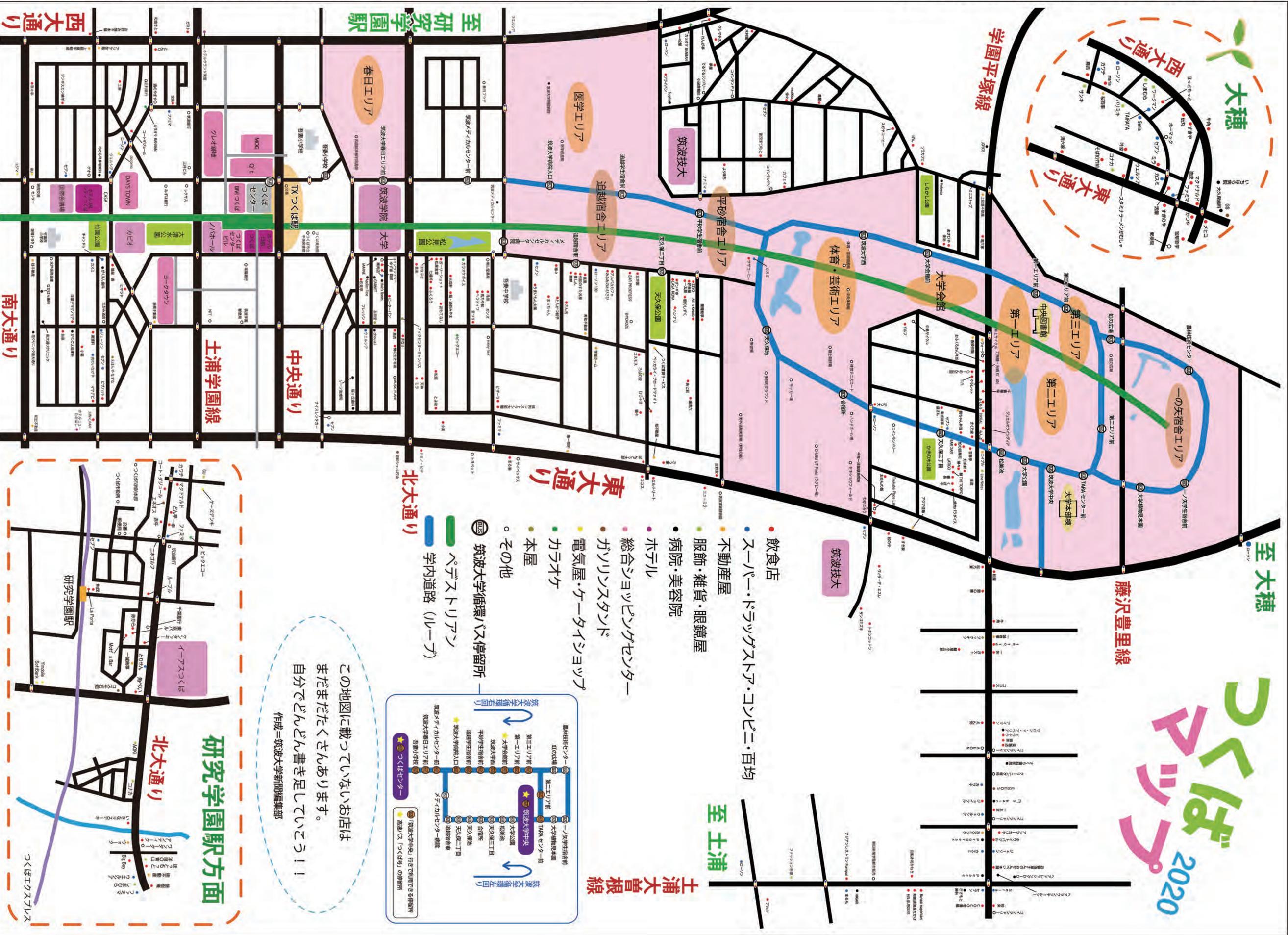
「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

「T-ACT」の技術を紹介した。追加写真加工ソフトを使い、コンプレックスを感じる部分を自然に美しく見せるように編集する「デジタルメイク」の開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。



つくば 2020

- 飲食店
- スーパー・ドラッグストア・コンビニ・百貨
- 不動産屋
- 服飾・雑貨・眼鏡屋
- 病院・美容院
- ホテル
- 総合ショッピングセンター
- ガリンスタンド
- 電気屋・カータイショツツ
- カラオケ
- 本屋
- その他



この地図に載っていないお店はまだたくさんあります。自分でどんどん書き足していこう!!

作成=筑波大学新聞編集部

研究学園駅方面



筑波大とSDGs



SDGsの目標17項目

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	



(国連広報センターの資料から作成)

「誰一人取り残さない」を合言葉に、2015年の国連サミットで採択された世界共通の目標「持続可能な開発目標(SDGs)」だ。貧困の撲滅や気候変動対策、ジェンダーの平等など17項目の大目標が定められ、地球規模での対応が進む。中でも大学は、研究開発や人材供給、地域への貢献など多面的な役割を果たすことが求められている。研究学園都市の中核機関である筑波大の取り組みや学生たちの活動、今後の課題などを追った。

つくば市は18年6月、内「ごごもの未来」など五つの柱を重点分野とする「つくば市SDGs未来都市計画」を策定し、取り組みの具体化を進めている。多くの研究機関が集積

筑波大の現状

学長補佐室長の池田潤教授(人文学部)に筑波大のSDGs推進の現状や強みなどについて聞いた。

SDGsに関する筑波大の取り組みの現状は研究者が持つ問題意識は17あるSDGsの目標のいずれかに必ず結びつたため、基本的に各自で取り組みを進めている。ただ、学がSDGsに取り組む姿勢を見せることは学生や教



池田学長補佐室長(3月6日、本部棟) = 国井俊介撮影

員の励みとなり、重要な。そのため、トップダウンで進める取り組みもある。昨年10月には筑波大が中心となって「筑波会議」を開催し、研究と教育とSDGsの関係性を世界に向けて発信した。また、SDGsへの貢献を目指し、2017年8月に「国連グローバル・コンパクト」IIに加盟した。日本の国立大学として初めて、ウェブサイトを新設して筑波大の研究や取り組みとSDGsとの関連を積極的

に社会に発信している。筑波大が力を入れて取り組むは大きく分けて二つある。一つはスポーツを通じたSDGs推進だ。18年には五輪女子マラソン銀メダリストの有森裕子さんを招き、スポーツを通じた国際開発についてのシンポジウムを開催した。スポーツで挑戦と目標達成を繰り返すことで、課題に立ち向かう勇気を得られる。これはSDGs達成に向けても、大きな力となる。二つ目は、大

に社会に発信している。イバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターを中心に展開する取り組みだ。その特色は「ダイバーシティ」を男女共同参画やジェンダーだけでなく障害を持った学生や教職員への配慮も含めて広くとらえたことだ。

「筑波大が持つ、達成に向けた強みとはSDGsを達成する鍵となるのは異分野融合だ。そこで、筑波大の開学以来の教員組織と教育組織を分け

「今後の課題は大学にSDGs推進の司令塔となる部署がなく、現在は学長が中心となってSDGsを推進している。推進室の設置は今後の検討課題だ。

「国連グローバル・コンパクト」II人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止の4分野10原則に賛同する企業や団体などが、その実現に向けて行動することを約束し、自発的に取り組みを進める世界的な枠組み。00年7月に発足した。

筑波大生発のSDGs推進

SDGsは世界共通の目標だ。日ごろの学生団体の活動もSDGsの達成につながっている。将来を担う筑波大の学生たちの取り組みは多岐で、幅広い。

育児・研究の両立を

筑波大育児支援会は、院生ら7人。運営する育児室(3畳)は総合研究棟D学生への支援拡充を大学に求める活動を進める。出産や育児の負担が大きい女性や育児の負担が大きい女性や育児の負担が大きい女性

「子育て学生」の存在が、研究の邪魔にならないよう、両立できる大学を作ることが狙いでSDGsの「質の高い教育をみんなに」や「ジェンダー平等を実現しよう」

吃音症に向き合う

筑波大の学生団体「ゆうゆう会」は、毎月第3日曜日に吃音を持つ中高生の交流会を開く。15人のメンバーの多くも実は吃音の当事者だ。中には言語聴覚士の資格を持つ学生もおり、自らの体験を踏まえた専門的なサポート体制を整えている。取り組みを通じてSDGsの「すべての人に健康と福祉を」と「質の高い教育をみんなに」の達成に貢献することを目指す。

「吃音を持つ副代表の遠藤優さん(医学2年)は、過去に自分だけが吃音だと考えたが、交流を通して抱えられた子供の状態などを報告し、自身が親にかけられたような辛い言葉を共有し、保護者と一緒に子供への接し方を考える。

「交流会では保護者との座談会も設けられ、メンバーが交流を通して抱えられた子供の状態などを報告し、自身が親にかけられたような辛い言葉を共有し、保護者と一緒に子供への接し方を考える。

大学の役割

国連大学上級副学長で、水文学の観点からSDGs研究を進める沖大幹・東京大学教授に、SDGs達成に向けた大学の役割を聞いた。(聞き手・國井俊介)



沖大幹教授

文化や芸術も目標にして

コロナウイルスの世界的な感染拡大で実感したように、グローバル化した社会には、世界が一体となって問題解決に取り組むSDGsが必要だ。達成に向け、大学は二つの役割を担う。一つは知の拠点としての役割だ。専門的な知識を持った研究者が集まり、共同研究によって、社会が抱える課題に速やかに解決策を導く。SDGsには「飢餓をゼロに」や「安全な水とトイレ」など、SDGsを推進できる。SDGsには「飢餓をゼロに」や「安全な水とトイレ」など、SDGsを推進できる。SDGsには「飢餓をゼロに」や「安全な水とトイレ」など、SDGsを推進できる。

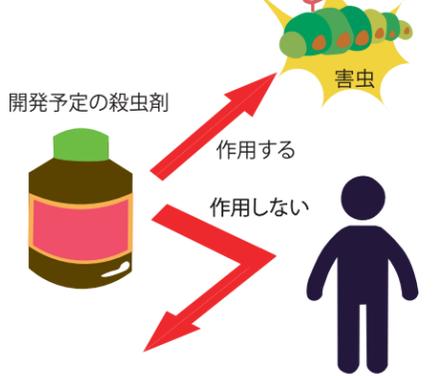
筑波大研究者の取り組み

SDGsの理念を実現するための鍵となるのが研究開発だ。筑波大でも、温暖化の将来予測や安定した食料供給につながる農業の開発などの研究が進む。

環境に優しい殺虫剤

丹羽隆介教授(生存ダイナミクス研究センター)ら

害虫のみに作用



(丹羽教授への取材を基に作成)

開発予定の殺虫剤は、従来の農業用殺虫剤は、狙った害虫以外にも影響を及ぼすことがあった。特定の害虫にだけ作用する殺虫剤ができれば、生態系の保全にも貢献する。丹羽教授は昆虫に脱皮やステロイドと呼ばれるホルモンを研究してきた。シヨウジョウバエを用いた研究で、エクジステロイドを合成するために働く酵素Nopperalooで、複数の候補物質が見つ

「中国語が話せるサッカープレイヤー」。就活中の私のキャッチフレーズだ。建学8年目の筑波大、また新しい学園都市は、自分で動けば、何かを創り出せる余地が多く残っていた。私も様々なことに首を突っ込み、全てが人生の肥やしになっているのだから、特に中国語の習得と、サッカーの世界で新しいことを始めた経験は、今の私の土台となっているのだ。だが、なぜかすぐに、ここで紹介したい。人文学類で中国史を専攻していた私は、深い考えもなく中国語を履修した。1年生の夏休み、平砂宿舎にこもって中国

都道府県別の対応可能に

研究センター)などの研究グループは、文部科学省の「気候変動適応技術社会実装プログラム」の一環で、都道府県別の夏の気温と熱中症患者の搬送数を予測するプログラムを開発した。研究では、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)がまとめた第5次評価報告書の将来予測に、過去の都道府県別の気象データと熱中症の緊急搬送された人数を加味して、将来の夏期(6~9月)の平均気温と緊急搬送件数を予測した。IPCCの将来予測が2.9倍、対策が進む場合は2.0倍、対策が進まない場合は2.9倍、大きな差は出なかった。しかし、81シナリオ(RCP8.5)と効果的に進むシナリオ(RCP2.6)の約4倍の差が出る結果となった。日下教授らによる、日本国内では、北海道や東北地方北部の温暖化の進行が他地域に比べて速く、熱中症のリスクも高まる。ヒートアイランド現象の対策が、熱中症リスクを抑える鍵になる」と話した。

Hello! 先端研究

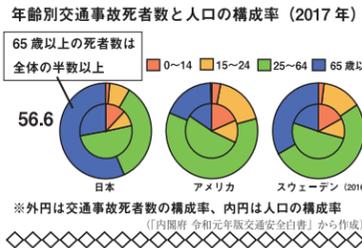
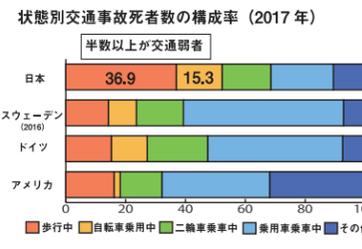


市川政雄教授

運転免許の更新時に認知機能の検査が導入された後も、高齢運転者による事故は減っていないばかりか、75歳以上の交通弱者の死傷率(自動車乗車中か歩行中)の上昇を招いた。こんな分析結果を市川政雄教授(医学医療系)らの研究グループがまとめた。認知機能検査の在り方に二石を投じる研究として、大きな注目を集めている。

認知検査は事故抑止せず 科学に基づく交通政策を

認知機能検査制度は、道路交通法の改正に伴い2009年6月に導入された。高齢運転者の事故を減らす狙いがある。75歳以上の運転者は免許更新時に、記憶力や判断力を測定する検査を受けることを義務付けられた。市川教授らは検査制度の効果を検証するため、全国の交通事故・外傷データ(05年1月から16年12月まで)を分析した。75歳以上の交通事故発生率は検査対象外である70~74歳の事故率と比べ減少していることがわかった。70~74歳は75歳以上の身体能力などの条件がほぼ同じとみられるため、検査が事故の抑止につながっていないと考えられる。市川教授は「高齢運転者が認知機能検査導入後に運転を止めたり控えたことが背景にある」と指摘する。今後は、17年の認知機能検査の運用変更や、それを受けた高齢者の交通安全の確保策などの効果を検証する予定だ。市川教授は「交通政策は科学的な根拠に基づき、確実に効果のあるものでなければならぬ。今後も検証を続けていきたい」と話している。(北川瑠菜比較化学類2年)



※外円は交通事故死者数の構成率、内円は人口の構成率(内閣府「令和元年版交通安全白書」から作成)



日揮グローバルヤンゴン事務所長 笹原 勉 さん

手紙

人留学生在が越してきた。調理場で隣り合わせになった時、思い切って彼の腕を指さして聞いてみた。「これは何ですか? (これは何ですか?)。すると彼は急にニコッとペラペラに中国語を話し出すではないか。慌てて手を振り、そんな話せないことを伝えたが、私の中国語が初めて通じた瞬間であった。2年生の夏休み、今度中国留学から専攻の先輩が帰国してきた。豪快な性格の彼が語る中国留学の話は、私を強く中国に惹きつけた。そして、3年生の夏休み、北京に1か月の語学研修に行ってみた。日本とのあまりの違いに驚き、帰国後は二度と中国を歩かなくなった。この経験は、今の私の土台となっているのだ。だが、なぜかすぐに、ここで紹介したい。人文学類で中国史を専攻していた私は、深い考えもなく中国語を履修した。1年生の夏休み、平砂宿舎にこもって中国

一歩踏み出せば世界広がる

今、私の人生を豊かにしてくれている中国語とサッカーだが、思い返せば、筑波の地で、自分から一歩踏み出したことをきっかけとして広がった世界である。皆さんも、ちょっと勇気を出して、新しいことに向かって自分から動いてみてはどうだろうか。筑波は、それが許されることだと思っている。(昭和63年度地域研究科修了)

世界目指し海外チームと契約 吉田守一



タルヌフの体育館で活躍を誓う吉田=本人提供

筑波大男子ハンドボール部に所属する吉田守一(体専2年)が、1月にポーランドのハンドボールリーグ「タルヌフ」と正式契約した。契約期間は2020年5月まで。契約に伴い、現在は大学を半年間休学しており、部活は休部中。海外挑戦のきっかけや苦労、今後の抱負を聞いた。(聞き手・國井俊介)

海外挑戦のきっかけは、レベルの高い選手が多く、なかなか試合に出場できないが、フィジカルの強さをポーランドリーグでも通用していると思う。良いポジションを確保してディフェンスをかわし、シュートを狙っていた。出場機会を得るため、がむしゃらに練習に励んでいる。

強みのフィジカル さらに進化へ
—今後の抱負は—
ポーランドリーグの名をとどろかせるような選手になりたい。ポーランドリーグの選手は日本人と比べて体格が大きい。彼らに負けないように筋トレなどを重ね、さらにフィジカルを強化したい。

全日本ラート選手権 堀口 2年ぶり総合優勝



斜転の演技をする堀口(1月26日、つくばカピオで)

【つくばカピオ】つくば市竹園で加藤優花II国際総合学類3年、写真も)第25回全日本ラート競技選手権が1月25、26日に行われた。女子は筑波大の堀口文(体専系・特任助教)が直転部門、斜転部門を制し、個人総合優勝した。堀口の総合優勝は2年ぶり。跳躍部門では松浦佑希(体科4年)が優勝した。男子は高橋晴彦(平成24年度体育専攻修了)が直転、斜転、跳躍の3部門全てで優勝し、個人総合8連覇を果たした。

体操



ラートは2本の輪を並行につなげた器具を回転させ、様々な技を繰り広げるスポーツ。大会では直転部門・斜転部門・跳躍部門の3部門で、技の難易度や完成度などが争われた。

シード権獲得目指す 箱根駅伝報告会



陸上

第96回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)に出場した筑波大陸上競技部の男子駅伝チームが2月18日、つくば国際会議場(つくば市竹園)で報告会を開いた。弘山勉監督(筑波大・准教授)や本戦に出走した選手らが出席。関係者約200人を前に、最下位に終わった今大会の反省と今後の抱負を語った。



報告会に臨む選手たちと弘山監督(2月18日、つくば国際会議場) = 西村大祐撮影

ATHLETICS AWARDS

学業や競技の優秀学生を表彰

筑波大アスレチックデパートメント(AD)に所属し、学業や競技で特に優れた成績を挙げた学生を表彰する「TSUKUBA OWLS ATHLETICS AWARDS」が2月22日、ホテルグランド東雲(つくば市小野崎)で開かれた。昨年に続く2回目の開催で、最優秀選手(MVP)にあたる「学生アスリートオブザイヤー」に男子ハンドボール部前主将の山田暁(令和元年度体育専門学群卒)が選ばれた。式にはADに所属する硬式野球部、男女ハンドボール部、男女バレーボール部の選手やAD関係者など計約200人が出席した。ドレスコードはカジュアルエレガンスで、選手たちは普段とは違っておしゃれな装いで会場に集った。



MVPを受賞する山田選手(左)(2月22日、ホテルグランド東雲で)

表彰対象はGPA(学業成績平均)3.2以上を達成していることが前提。MVPは学業成績や大会成績、部への貢献などを総合的に評価して決める。

表彰基準はGPA3.2はADに所属する運動部員の平均値に相当する。山田晋三・AD副アドミニストレーターは「学生の身分である学業を十分に取組んだ上で、選手として活躍してほしい。ADの理念である競技と学業の両立を学生たちと共有していきたい」と話している。(國井俊介 写真も)

対外活動 自粛も

新型コロナウイルス

【一面参照】大学側からの課外活動でのイベント延期や中止の要請を受け、筑波大の各運動部や運動サークルでも合宿や練習試合などの対外活動を見直す動きが続いている。

自転車 世界選手権 日本女子初優勝



写真: More CADENCE <http://morecadence.jp>

自転車のUCIトラック世界選手権が2月26日から3月1日までベルリン(ドイツ)で行われ、梶原悠未(体育P1年)が女子オムニウムで日本初となる金メダルを獲得した。

(遠藤内早紀)

「頂点に立ち続けたい」

自転車

オムニウムはスクラッチ、チームタイムトライアル、スプリント、ポイントレースの4種目のレースの総得点を競う。各国から代表選手1人ずつ、総勢24人が参加した。

1種目のスクラッチでは、トラックを30周(7.5分)走り、その最終順位で競う。レース終盤、梶原は先頭集団に入り、残り1周で2位につけた。最後の直線でバレンテアメリカを抜いて先頭に立つ作戦通りにレースを進め、この種目を1位で終えた。

2種目のタイムトライアルは、トラックを1周する。残り1周で先頭集団に入った梶原は、残り6人になったところでウィルト(オランダ)を抜いて先頭に立つ作戦通りにレースを進め、この種目を1位で終えた。

3種目はエリミネーション。2周ごとに最下位の選手が脱落し、最後まで残った選手が勝利する。梶原は常に集団前方にいたが、残り6人になったところでウィルト(オランダ)を抜いて先頭に立つ作戦通りにレースを進め、この種目を1位で終えた。

乗り換えレースに戻り、3位に食い込んだ。最終種目のポイントレースは、総距離20キロのうち2キロの通過順で得点が与えられ、合計点を競う。梶原は3種目を終えた時点で2位に20点もの大差をつけ、暫定1位。逆転されないうち、上位集団に位置を取り続け、日本史上初の優勝を果たした。

大学生活や将来を表現 卒業ダンス公演

ダンス



「新時代—そこに僕らが映る—」最後の場面で客席側を振り向く4年生=西平桂太郎提供

【筑波大学会館で加藤優花II国際総合学類3年筑波大舞踊研究室が主催する令和元年度卒業ダンス公演が2月5日に行われた。体育専門学群開設の授業「ダンス実技理論・実習」の受講生や卒業生、ダンス部員など300人以上が出演し、2部構成で24演目の創作ダンスを披露した。卒業生や市民ら約3500人が訪れ、舞台は熱い声援に包まれた。

第1部では授業を受講した1年生76人が、大学入学からの1年間を表現した創作ダンス「a run in (アランイン)」季節を巡る」を展開。最後は全員がステージに登場した。中腰で足を踏み、元氣あふれるダンスで会場を沸かせた。その後、ダンス部の遣

ダンス



唐使一身を以て知を求め「などが演じられた。第2部の冒頭では、2年生が「ぼくらは未来に出会った。」を統一テーマに、大学卒業後の進路や体験を創作ダンスで表した。スーツ姿で電車のつり革につかまる社会人を模したり、机などの小道具を用いて教師を表現するなど、計7演目を披露した。そのうち、5組の男女の恋模様を表現した演目「踊る抱き合い大作戦」に出演し、ブーケをキヤッチする役を演じた花村春香さん(体育専3年)は「自分の出番はあつという間に終わってしまった。来年も参加したいと話した。公演の最後は4年生有志による「新時代—そこに僕らが映る—。学生たちが部活動に励んだり、就職活動を経験したりする中で、自分の個性を見つけ、新たな道に踏み出す姿を描いた。女性の出演者がほかの出演者の背中の上を渡り歩くなど、独特な構成で観客を魅了。終盤には「ぼくのこと」という曲にのり、全員が振り付けを合わせたダンスを踊った。最後は全員が横一列に並び、観客に背を向け、振り返った。会場は歓声に包まれた。

出演した佐藤航さん(令和元年度体育専門学群卒業)は「楽しかったというよりも名残惜しい気持ちで強い。ダンスは、表現を通じて、人に影響を与えられる。スポーツだと知ったと話した。

実行委員長の齋藤瀬奈さん(体育P1年)は「出演者としての練習と運営の両方から学べる。公演を立派な大舞台だったが、公演を終え達成感を感じている。来年は実行委員会を支える側に回りたい」と語った。

神奈川県出身。両親や兄のプレーを見て、小学1年の時から競技を始め、チーム全員で目標に向かって練習することや、練習するほど試合で成果を発揮できることに

小柄さ活かし頼られる存在へ

U19 ワールドカップ日本代表
池田 沙紀 (体専2年)

「これまで、周りから頼ってもらいながら、要所でシュートを決め、要所に負けてしまう場面が多かった。試合で自信を持つために、普段の練習では人一倍強い気持ちで臨んでいる。

頼られることに対するプレッシャーは感じるものの、頼られるうれしさの方が強いという。プレッシャーを楽しみ、武器にする努力家の挑戦は、これからも続く。(加藤優花II国際総合学類3年、写真も)

スポーツ 顔

バスケット

高校時代に2度の全国制覇を達成した。昨年度は1年生ながらもポイントガードとしてオフシーズンの司令塔を務め、チームの勝利に貢献。U19日本代表にも選ばれた。高身長が有利とされるバスケット界で、身長159センチの小柄な体格を生かした素早いドライブで敵陣をかいくぐり、シュートを決める。ボールのハンドリングとスピードを強みにするだけでなく、どこからでも打てる正確なシュートも持ち味だ。

神奈川県出身。両親や兄のプレーを見て、小学1年の時から競技を始め、チーム全員で目標に向かって練習することや、練習するほど試合で成果を発揮できることに

小柄さ活かし頼られる存在へ

U19 ワールドカップ日本代表
池田 沙紀 (体専2年)

「これまで、周りから頼ってもらいながら、要所でシュートを決め、要所に負けてしまう場面が多かった。試合で自信を持つために、普段の練習では人一倍強い気持ちで臨んでいる。

頼られることに対するプレッシャーは感じるものの、頼られるうれしさの方が強いという。プレッシャーを楽しみ、武器にする努力家の挑戦は、これからも続く。(加藤優花II国際総合学類3年、写真も)

小柄さ活かし頼られる存在へ

U19 ワールドカップ日本代表
池田 沙紀 (体専2年)

「これまで、周りから頼ってもらいながら、要所でシュートを決め、要所に負けてしまう場面が多かった。試合で自信を持つために、普段の練習では人一倍強い気持ちで臨んでいる。

78キロ超級 糸田が準優勝

柔道

(体専4年)が準優勝を果たした。また、21歳以上63キロ級で白石ひかる(同3年)が5位となった。

ベルギー国際大会
ベルギー国際大会がエルスタル(ベルギー)で2月1、2日に行われ、21歳以上女子78キロ超級で糸田晴乃が優勝し、2回戦ともに

た。今回優勝したことで、選手権でも勝ち、世界のトップに立ち続けたい」と語った。

はチームの中核として活躍した。夏にはインターハイで優勝し、自身初めての全国制覇を経験した。

高校3年生になり、得点力のある留学生在卒業した。「今まで上級生の留学生に頼っていたが、これからは自分が得点を取らなければいけない」と

決まれば悔しい思いをするが多かった。試合後半でも疲れはないスタミナを身につける練習を重ね、12月のウィンターカップで優勝。再び全国制覇を果たした。

機動力を生かし、コート上の選手全員が得意とする筑波大女子の試合を見て、「ここなら自分の強みであるドライブとシュート力を生かせる」と進路を決めた。

昨年7月にタイで開催されたU19ワールドカップに日本代表として出場したが、「世界で戦う選手との体格の違いを思い知らされた。その一方、自分のドライブのスピードや、ハンドリングのスキルが、世界に通用することに手応えを感じた。

優勝を掲げて挑んだ昨年のインターハイ。1年生ながら要所で得点に絡むプレーをみせるも、2回戦で敗退した。「4年生を勝たせられず悔しいが、リベンジは次の代でしかできない」。悔しさを味わう一方で、得たものも大きい。インターハイの前哨戦でもあるリーグ戦で

分の成長の糧となった。また、海外選手に比べると体格が劣っているため、組手と技の両方の技術を磨いていきたい」と語った。

一方、白石は63キロ級で、予選リーグ2回戦までは内股、本戦1回戦では袖釣込腰で一本勝ちを決めた。2回戦はカイザー(ドイツ)と戦い、背負い投げで勝利した。準決勝では浦明澄(日本体育大)に善戦するも、延長戦で小外刈をかけられ敗北した。(北川瑠夢)

糸田は「決勝で五輪チャンピオンと戦えたことが自

合わせ技で二本勝ち。その後の本選も、小外刈と大外刈で2回戦まで勝ち抜いた。準決勝では、ハイメ(フランス)と対戦し、互いに譲らず延長戦に突入した。その約3分後、小外刈を決め優勢勝ちを収めた。決勝では2012年のロンドン五輪で金メダルを獲得したオルティス(キューバ)と対戦し、相手の横車で一本を奪われ準優勝となった。

た。今回優勝したことで、選手権でも勝ち、世界のトップに立ち続けたい」と語った。

はチームの中核として活躍した。夏にはインターハイで優勝し、自身初めての全国制覇を経験した。

高校3年生になり、得点力のある留学生在卒業した。「今まで上級生の留学生に頼っていたが、これからは自分が得点を取らなければいけない」と

決まれば悔しい思いをするが多かった。試合後半でも疲れはないスタミナを身につける練習を重ね、12月のウィンターカップで優勝。再び全国制覇を果たした。機動力を生かし、コート上の選手全員が得意とする筑波大女子の試合を見て、「ここなら自分の強みであるドライブとシュート力を生かせる」と進路を決めた。昨年7月にタイで開催されたU19ワールドカップに日本代表として出場したが、「世界で戦う選手との体格の違いを思い知らされた。その一方、自分のドライブのスピードや、ハンドリングのスキルが、世界に通用することに手応えを感じた。優勝を掲げて挑んだ昨年のインターハイ。1年生ながら要所で得点に絡むプレーをみせるも、2回戦で敗退した。「4年生を勝たせられず悔しいが、リベンジは次の代でしかできない」。悔しさを味わう一方で、得たものも大きい。インターハイの前哨戦でもあるリーグ戦で

追越学生宿舎でぼや

昨年12月 学生の冷温庫が焼失

昨年12月7日午後、追越学生宿舎24号棟1階の居室、冷温庫から出火するぼやがあった。冷温庫が焼失し、火はまもなく消えた。つば市消防本部(同市研究学園)によると、出火原因は分からないという。宿舎にいた学生が一時避難する騒ぎとなったが、けが人はいなかった。(廣間菜月)

24号棟は鉄筋コンクリート造り4階建て。単身用居室が100室(各室約10平方メートル)あり、学生生活課によると、7日午後4時56分に火災報知器が発報し、宿舎管理事務所の職員と警備員が現場に駆け付け、消防は午後5時10分に現場に到着。同棟に入居する学生は消防の指示で一時避難した。到着時点で冷温庫4時35分ごろと推定している。出火当時、入居者は不在だった。

関係者の証言などから、市消防本部は出火時刻を午後4時35分ごろと推定している。現場では冷温庫本体が燃え、同棟によると、冷温庫は入居者がインターネット通販で購入した新品で、この日午前1時ごろから使い始めたばかり。現場の状況や



ぼやが起きた居室。すす煙で黒く汚れている。=学生生活課提供

学生は同日から別の居室に移動した。居室は約100万円かけて修繕するが、ベッドや机などの備品を入れ替えて再び学生が入居できる状態にするかは検討中だ。

上の書類に集めたことで火が出た事例があった。同課の担当者は、今回のぼやは入居者が不適切な器具の使い方をしていたわけではないと上で、「石油ストーブや卓上コンロを部屋で使用しないなど宿舎の決まりを守り、火災が起きないように注意してほしい」と呼びかけた。

また、つば市消防本部予防広報課の担当者は火災予防策として「コンセント付近を定期的に清掃する。外出時に不要な電源を切り、コンセントを抜くなどの対策で火災のリスクを減らすことができる」と話し、文学の面白さを知りたいと、学校の授業で「復讐」という小説に出会ったこと。主人公のオカミが人間にひどい仕打ちを受け、最後は人間を殺してしまふ物語だ。悲劇的な展開に感情を揺さぶられ、自分も人の心を動かす作品を生み出した。

14歳の時、作家になりたいと思った。きっかけは、学校の授業で「復讐」という小説に出会ったこと。主人公のオカミが人間にひどい仕打ちを受け、最後は人間を殺してしまふ物語だ。悲劇的な展開に感情を揺さぶられ、自分も人の心を動かす作品を生み出した。

だが、次第に「作家で食っていくけない」という考えを意識するようになった。通っていたのは理系の進学校。大学卒業後は企業に就職すべきと願うようになった。

創作活動の第一歩として、詩を書き始めた。短い言葉で感情や情景を表現できるからだ。家族への想いや、人間関係の悩

だが、次第に「作家で食っていくけない」という考えを意識するようになった。通っていたのは理系の進学校。大学卒業後は企業に就職すべきと願うようになった。

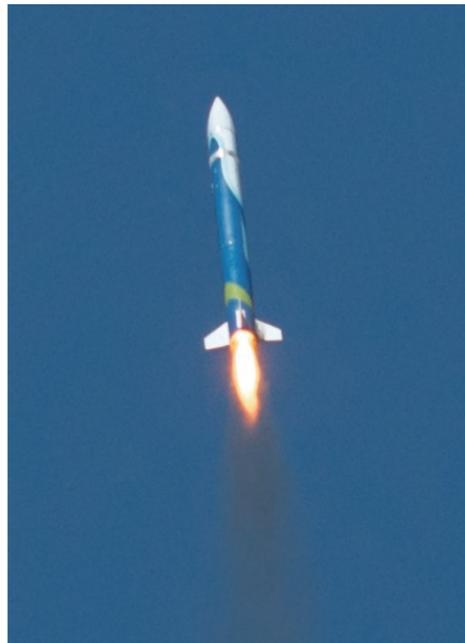
創作活動の第一歩として、詩を書き始めた。短い言葉で感情や情景を表現できるからだ。家族への想いや、人間関係の悩

筑波大生のロケット海から空へ

学生団体「STEP」

茨城の海から、筑波大生のロケットが宇宙へ。筑波大の理工系学生14人でつくる筑波大学宇宙技術プロジェクト「STEP」の製作した小型ロケットが2月24日、茨城県沖約80キロの洋上で打ち上げられた。発射後、ロケットは約20秒の間高度を上げ、打ち上げは成功した。計測機器が故障したため目標の高度4キロを達成したかは不明。だが、上昇時間や自視の結果から、高度3〜4キロに到達したとみられるという。筑波大生が洋上でロケットを打ち上げたのは初めて。(遠子内早紀)

打ち上げた小型ロケット「ンバーの会費とOB・OGの寄付で集めた。06年から活動をしているSTEPは、これまで16機のロケットを製作しており、これまでの最高到達高度は18年の約1キロだった。九州大の学生団体を持つ学生最高記録(3.2キロ)の更新を目指し、今までの



洋上から打ち上げられ、高度を上げるロケット=筑波大学宇宙技術プロジェクト「STEP」提供

今回の打ち上げは、同社からSTEPに声掛けがあった。人工衛星の小型化が進み、世界的に小型ロケットの需要が増大している。射場の確保が課題の一つで、洋上発射は有力な手段として注目され始めている。代表の相沢慧さん(工シ

2年)は「洋上打ち上げを体験できたのは大きな収穫。陸上だと周囲の安全に配慮して射場を探す必要があるが、洋上なら柔軟な対応が可能で、新しいことに挑戦しやすい」と話した。

現在は秋田県で8月に打ち上げる新ロケットの設計に取り組んでいる。相沢さんは「学生最高記録の正式樹立を目指してこれからロケット開発に取り組みたい」と意気込んだ。

2012年に始まり、市民向けの作陶ワークショップなどを開催してきた。会場にはワークショップで参加者が作った焼き物のほか、7年間の活動を振り返るパネルも設置された。

齊藤准教授は「ワークショップでの何気ない会話から、報道では分からない

避難者の不安や孤独を感じてきた。震災復興に貢献できるか悩んだ時期もあったが、参加者の喜びの様子を見て、人と人とのつながりを作る意義を実感した」と話した。(廣間菜月 写真も)

平砂浴場の利用者は、2008年度に1日平均696人だった。だが、09年度に各宿舎にコインシャワー(1回100円)が設置されたことで利用者は激減。宿舎への入居者自体が減っていることもあってその後も減少傾向が続き、16年度には1日平均85人にまで落ち込んだ。

同課によれば、大浴場に入る習慣がない留学生が増えたことも、利用者減の一因と考えられるという。

同課は浴場の運営を継続する方針だが、設備は運用開始から46年が経過し、老朽化が進んでいる。予算面や利用者の減少の関係で大規模改修のめどは立っていない。

陶芸で人のつながりを「結の器プロジェクト」

東日本大震災を契機に、陶芸を通じて人と人とのつながりを作るプロジェクト「結の器プロジェクト」の作品展が3月4日から20日まで、関野商事つくば本社(つくば市二の宮)で開催された。プロジェクトは筑波大の齊藤敏寿准教授(芸術系)の呼びかけで

2012年に始まり、市民向けの作陶ワークショップなどを開催してきた。会場にはワークショップで参加者が作った焼き物のほか、7年間の活動を振り返るパネルも設置された。

齊藤准教授は「ワークショップでの何気ない会話から、報道では分からない

避難者の不安や孤独を感じてきた。震災復興に貢献できるか悩んだ時期もあったが、参加者の喜びの様子を見て、人と人とのつながりを作る意義を実感した」と話した。(廣間菜月 写真も)

平砂浴場の利用者は、2008年度に1日平均696人だった。だが、09年度に各宿舎にコインシャワー(1回100円)が設置されたことで利用者は激減。宿舎への入居者自体が減っていることもあってその後も減少傾向が続き、16年度には1日平均85人にまで落ち込んだ。

同課によれば、大浴場に入る習慣がない留学生が増えたことも、利用者減の一因と考えられるという。

同課は浴場の運営を継続する方針だが、設備は運用開始から46年が経過し、老朽化が進んでいる。予算面や利用者の減少の関係で大規模改修のめどは立っていない。

同課の黒岩直行主幹は「コインシャワーが故障などで使えなくなった場合を想定すれば、浴場を残す意義はある。課外活動の後や、気分転換したい時にぜひ利用してほしい」と話した。学生宿舎の共用浴場を巡っては15年度に「の矢地区と追越地区の浴場が廃止された。平砂浴場は料金を10円値上げする一方で、営業時間を短縮し、運営を継続していた。(西村大祐、北川瑠菜)

留学生の声

モンゴル

モンゴルの首都ウランバートル出身。比較文化学類に昨年4月に入り、日本の近代文学を学ぶ。幼い頃、就寝前に母からモンゴルの叙事詩や小説を読み聞かせてもらい、文学の面白さを知った。

14歳の時、作家になりたいと思った。きっかけは、学校の授業で「復讐」という小説に出会ったこと。主人公のオカミが人間にひどい仕打ちを受け、最後は人間を殺してしまふ物語だ。悲劇的な展開に感情を揺さぶられ、自分も人の心を動かす作品を生み出した。

だが、次第に「作家で食っていくけない」という考えを意識するようになった。通っていたのは理系の進学校。大学卒業後は企業に就職すべきと願うようになった。

創作活動の第一歩として、詩を書き始めた。短い言葉で感情や情景を表現できるからだ。家族への想いや、人間関係の悩

だが、次第に「作家で食っていくけない」という考えを意識するようになった。通っていたのは理系の進学校。大学卒業後は企業に就職すべきと願うようになった。

創作活動の第一歩として、詩を書き始めた。短い言葉で感情や情景を表現できるからだ。家族への想いや、人間関係の悩



モンゴルの首都ウランバートル出身の学生。比較文化学類に在学中。

だが、次第に「作家で食っていくけない」という考えを意識するようになった。通っていたのは理系の進学校。大学卒業後は企業に就職すべきと願うようになった。

創作活動の第一歩として、詩を書き始めた。短い言葉で感情や情景を表現できるからだ。家族への想いや、人間関係の悩

だが、次第に「作家で食っていくけない」という考えを意識するようになった。通っていたのは理系の進学校。大学卒業後は企業に就職すべきと願うようになった。

新型コロナ影響広がる

課外活動・留学・就活……

【一面参照】新型コロナウイルスの感染拡大で大学生活にも影響が広がっている。佐藤副学長(学生担当)は、授業開始日までの課外活動でのイベントの延期や中止を要請し、多くの団体が活動を自粛した。4月以降の新生歓迎活動(新歓)の中止の発表も相次ぐ。海外留学中の筑波大生が帰国できない事例も発生し、春学期中の海外大学との交流事業が相次いで取りやめになった。また、3月に学内で予定されていた企業説明会も中止された。影響の現状を追った。(後藤佳佳)

新歓できず

学新歓Webを開設し、各団体の活動内容やSNSアカウントを掲載する。アカウンタを掲載する。

留学打ち切り

筑波大は春学期休業期間中に来国、カナダ、オーストラリア、フィリピンの4カ国で短期語学研修を主催する予定だったが、オーストラリア以外の研修は中止や中断となった。海外留学支那の約10プログラムも中止を余儀なくされた。

2〜3月に実施予定だった八つの留学生受け入れ事業のうち、東南アジアや中央アジアからの受け入れ事業五つも中止され、187人が来日できなくなった。海外の大学に筑波大生を派遣する11事業は一部を除き中止となり、200人以上の筑波大生が参加できなくなると考えられている。

2月末から7月末までの予定でドイツ留学中だった一倉利奈さん(社会学4年)は3月22日に帰国した。現在は自宅待機中で、「不完全燃焼のまま留学が打ち切られてしまった」と悔しさを隠さない。自宅待機中に進路について一から考えたい。留学

専門家に

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、学生はどう過ごせばよいのか。災害・地域精神医学が専門の太刀川弘和教授(医学医療系)と公衆衛生学が専門の堀愛助教(同系)に聞いた。(聞き手・後藤佳佳)

生活リズムの乱れ注意



太刀川弘和教授

もはやかられるなかで、1人暮らしの大学生は生活リズムが崩れやすくなる。人間は、他者との会話や触れ合いでストレスを解消し、感情を制御したりする。人に会わず家に籠もる生活が続くと、それが難しくなり、うつ状態になる可能性も。これを防ぐには、直接

後に取得予定だった教育実習の単位を今年度中に取得できるか心配だ。就職は、参加予定だった企業のパンフレット配布会を3月3〜9日に開催。ウェブサイトで企業側から伝えられた採用情報などを随時掲載する。

企業説明会中止

3月1〜6日まで開催が予定されていた「筑波大学学内企業説明会」は、2月26日に中止が発表された。同説明会は筑波大主催の学内最大規模の就活イベントで、今年は540社が参加



パンフレット配布会に参加した学生ら=就職課提供

授業は濃厚接触の温床



堀愛助教

新型コロナウイルスは感染しても若年層は重症化する割合が非常に低く、若者が知らぬ間に感染源となる。集団感染を防ぐため、厚生労働省の専門家会議が示した「換気の悪い密閉空間」などの開催方式の変更が求められる。

図書館飲食スペース拡大

利便性向上求める声を反映

中央図書館内の飲食可能スペースが2月3日から試験的に拡大された。新たに3〜5階のラウンジでの飲食と閲覧室、研究個室、集会所への飲み物の持ち込みが可能になった。パソコンや視聴覚機器、1階の東京教育大学旧蔵書周辺は飲食禁止を継続する。利用状況に問題がなければ正式に拡大される予定だ。

持ち込み可能な飲み物は、倒しても容易にこぼれない密閉容器に入ったものに限定。ペットボトルや水筒は可だが、びん、缶、紙パック容器や蓋付きカップ類は不可。

みんなの学会

分野を超えた学生交流

学問分野の壁を超えて学生研究者が集い、成果を発表する「みんなの学会」が2月15日、ノバホール(つくば市吾妻)で開かれた。筑波大や聴覚、視覚障害者を通う筑波技術大など市内の学生らがつくる「つくば同館は飲食可能エリアのラウンジとリフレッシュコーナーに掃除用具を設置し、利用者に活用を促している。

「誰でも楽しめる学会」という理念のもと、会場では障害への配慮として、手話による同時通訳や文字通訳を映写スクリーンが用意された。延べ約150人が来場した。



まささらな画用紙に向かう子供たち。お母さんの顔を思い浮かべ、そっくりに描けるように黙々と手を動かす。



参加者と交流するメンバー(2月24日、つくば市役所で)

小学生対象の似顔絵を描くイベント「筑波大生と似顔絵を描こう！」が2月に開かれ、会場のつくば市役所には定員を超える23人が集まった。参加者に似顔絵を教えるのは、主催した筑波大生らの団体「つくばあーとどあ」の面々だ。

イベントは昨年11月から準備を始め、会場探しやポスター制作、似顔絵の見本作成などに取り組んだ。似顔絵を描くコツをまとめた冊子をつくらたり、短時間で描く練習

似顔絵を通して「どこでもドア」のようなアートの世界への入り口を作りたい。また「福笑い」を用いて、顔の輪郭を図形に簡略化して捉えることと、目や口、鼻など顔のパーツを正確に配置する大切さを分かりやすく教

「今後もし子供たちにとってアートの入り口になるようなイベントを開催したい」と話す大森さん。夏休みには規模を拡大したイベントを予定しているほか、市内各所へ出張してイベントを開くことも考えている。

その後、参加者はマツコ・デラックスやHIKARI A K I Nといった有名人の写真を基に、メンバーとともに似顔絵に挑戦。最後には家族や友人などの似顔絵を思い思いに描いた。

主権者の横井知さん(工学専攻後期3年)は「異分野の学生同士で研究を伝え合うことは、分野横断的な視点を持つ上で有意義。大学や研究機関が多いつくば市の特徴を生かし、学生交流を活発にしたい」と話した。(後藤佳佳)

大の鈴木佑弥さん(環境2年)は、新種の蜘蛛を発見した研究を発表。筑波大学内で採取した見慣れない蜘蛛を全国から集めた標本と比較し、3年かけて新種だと突き止めたという。

Who's Who?

アイドルコピーダンスグループ「Bombs!」の創設者

深津 里佳 さん (医学4年)



雙峰祭のステージに立つ深津さん=本人提供

昨年度の筑波大学園祭(雙峰祭)の雙峰祭ランプリ・パフォーマンス部門で最優秀賞を獲得したアイドルコピーダンスグループ「Bombs!」の創設者。結成1年目にして、大学生によるアイドルコピーダンス大会「UNIDOL(ユニドル)2019-winter」の決勝戦に出場し、グループを全国5位に導いた。Bombs!の活動のかわら、医師になるための勉強にも励む。

アイドルコピーダンスは、プロのアイドルの楽曲に合わせて踊るパフォーマンス。歌は歌わず、歌詞に合わせて口を動かして、アイドルさながらの表情や仕草で観客を楽しませる。「普通の大学生が、本物のアイドルのようにステージで誰かを笑顔にできることが一番の魅力と語る。根っからのアイドルオタクだ。高校2年の時には「仮面女子」というグループに夢中になり、地元の群馬県から東京・秋

葉原の劇場へほぼ毎週通い詰めた。目立たなかったメンバーが努力して人気を伸ばしていく姿に感動し、華やかなステージで輝くアイドルに憧れた。大学1年の時、筑波大で活動していたアイドルコピーダンスグループ「爆走☆ペDESTリアン」に加入。アイドルと同じようにステージで踊ることがうれしく、練習に打ち込んだ。その年のユニドル関東予選に出場したが、グループは人数減少で2018年3月に解散した。その後しばらくはアイドルコピーダンスから離れ、医学類の試験や課題に追われていた。だが「もう一度ステージに立ちたい」との思いが募り、大学2年の18年6月から2カ月で約20人を集め、雙峰祭限定のグループ「アイコプロジェクト」として参加した。ほぼ全員が初心者な上、短期間の練習でステージを完成させることは難しく、チームとして経験を積むことの

アイドルに憧れステージに「相手のことを考えて振る舞う」

重要性を実感した。正式に団体を立ち上げようと思った。SNSや人づてに呼びかけてメンバーを集めた。そして昨年3月、アイコプロジェクトのメンバー5人を含む14人でBombs!を結成し、リーダーとなった。翌月に新入生が加入し、計25人で本格的な活動を開始した。大会前の練習は週4回。ダンスや表情の練習だけでなく、SNSでの宣伝や衣装製作など業務全体を指揮した。大会に出ないメンバーにも衣装や広報を担当してもらい、「Bombs!の一員として、頑張っているメンバーを支えてほしい」と伝えた。ステージを意識するのは「常に見られている」ということ。普通の大学生でも、ステージに立てばパフォーマンスだ。観客に思いきり楽しんでもらうため、曲の間も気を抜かない。「常に相手のことを考えて振る舞うことは、パフォーマンスとしても

医師の卵としても重要。この活動が将来に役立つのか悩む時もあったが、自分なりに意味を見出してから前向きになった。関東予選は12月、新宿ReNY(東京都新宿区)で開かれた。全国五つの地区予選の中で最も決勝進出が難しいといわれる激戦区だ。結果は12組中2位。念願の決勝進出を果たした。STUDIO COAST(東京都江東区)で行われた決勝戦では、全国から集まった観客約3700人の前で4曲を披露し、結果は5位となった。入賞は逃したが、結成1年目にして大きな存在感を見せた。先月でリーダーは引退し、2年生に引き継いだ。「今後は病院実習なども始まり忙しくなるが、6年生までステージに立てるのは医学生の特権。Bombs!がこの先何年も続く素敵なグループになるよう、ずっと支えていく」と語った。(後藤佳怡 社会学類3年)

次号は 5月25日(月) 発行予定です

卒業式・大学院学位授与式



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、規模を縮小して開催された=筑波大広報室提供

1面へ

学内総合

打楽器アンサンブル 筑打!



さまざまな音色の楽器で観客を楽しませるメンバーたち(2月2日、つくばカピオで)=遠子内早紀撮影

5面へ

学芸

箱根駅伝報告会



笑顔を見せる弘山監督(手前中央)と選手ら(2月18日、つくば国際会議場で)=大和祐菜撮影

12面へ

スポーツ

つくばあーとどあ



似顔絵描きに熱中する子供たち(2月24日、つくば市役所で)=梅津拓人撮影

15面へ

学生生活

編集後記

はすっかりほんでしまいました。ただ、暗いニュースだけでもありません。筑波大が指定国立大学法人への指定を目指し、文部科学省に申請しました(2面)。

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会

委員長 土井隆義(人文社会学系)

副委員長 佐藤勲(学生部)

委員 菅谷純子(生命環境系)

委員 栗樹園芸学(竹中佳彦(人文社会学系)教授)

委員 政治学

委員 筑波大学新聞編集部

編集長 鴨志田公男(筑波大学)

編集委員 サイエンスコミュニケーション

委員 西村大祐(人文社会学類3年)

委員 藤佳怡(社会学類3年)

委員 加藤優花(国際総合学類3年)

委員 ほか編集部員9人

発行所 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版